

平成19年11月16日

各位

会社名 マミヤ・オーピー株式会社
代表者名 代表取締役社長 滝沢 三規
(コード番号7991 東証第2部)
問合せ先 管理部長 吉野 利彦
電話番号 048-710-4800

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月15日の決算発表時に公表した通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

米国会計基準援用の有無 無

(金額の単位：百万円)

1. 業績予想数値の修正

(1) 20年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	14,500	990	950	1,180	円 銭 12.64
今回修正予想 (B)	12,400	1,170	1,100	1,230	13.18
増減額 (B-A)	△2,100	180	150	50	—
増減率 (%)	△14.5	18.2	15.8	4.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期)	16,336	1,295	1,239	9,711	145.58

(2) 20年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,200	860	840	1,110	円 銭 11.89
今回修正予想 (B)	9,500	730	820	1,150	12.32
増減額 (B-A)	△2,700	△130	△20	40	—
増減率 (%)	△22.1	△15.1	△2.4	3.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期)	13,768	1,054	918	9,513	142.55

2. 修正の理由

(連結)

売上につきましては、前回発表予想に対し21億円減の124億円となる見込みです。その理由といたしましては、スポーツ海外事業部門の売上が増加したものの、電子機器事業部門において、パチンコ関連機器の受注が減少したことが挙げられます。

また営業利益につきましては、売上減少にもかかわらず、前回発表予想に対し1億80百万円増の11億70百万円となる見込みであり、当期純利益につきましても、同じく50百万円増の12億30百万円となる見込みです。その理由といたしましては、スポーツ海外事業部門での利益の増加及び電子機器事業部門におけるコストダウン、並びに全社的な諸経費の削減等が挙げられます。

(個別)

売上につきましては、前回発表予想に対し27億円減の95億円となる見込みです。その理由といたしましては、電子機器事業部門において、パチンコ関連機器の受注が減少したことが挙げられます。

また営業利益につきましても、同じく、前回発表予想に対し1億30百万円減の7億30百万円となる見込みですが、当期純利益につきましては、売上減少にもかかわらず、40百万円増の11億50百万円となる見込みです。その理由といたしましては、電子機器事業部門におけるコストダウン、並びに全社的な諸経費の削減等が挙げられます。

[注記事項]

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績確定値は、さまざまな要因により異なる場合がありますことをご承知おきください。

以上